

早稲田大学 人間科学学術院 人間科学会 諸費用補助成果報告書 (Web 公開用)

申請者 (ふりがな)	野崎幹人 (のざき みきひと)
所属・資格 (※学生は課程・学年を記載。卒業生・修了生は卒業・修了年月も記載)	早稲田大学人間科学部 4年
発表年月 または事業開催年月	2023 年 3 月
発表学会・大会 または事業名・開催場所	日本教育工学会研究会 (東京学芸大学)
発表者 (※学会発表の場合のみ記載、共同発表者の氏名も記載すること)	正司豪、野崎幹人
発表題目 (※学会発表の場合のみ記載)	プロジェクト型学習のグループ活動における TA の支援活動
<p>発表の概要と成果 (抄録を公開している URL がある場合、「概要・成果」を記載した上で、URL を末尾に記してください。また、抄録 PDF は別途ご提出ください。なお、抄録 PDF は Web 上には公開されません。)</p> <p>本研究の目的は、オンラインで実施されたプロジェクト型学習(以下,PBL)のグループ活動におけるティーチングアシスタント(以下,TA)の支援活動の内容とその特徴を明らかにすることである。グループ活動における TA の支援の内容に着目し,質的な分析を行なった。</p> <p>その結果,本研究対象における TA の支援は,【当事者意識を含む「問いの設定」の支援】,【学生の試行錯誤を伴う活動の支援】,【実行可能性の促しや後押しを含む周辺的な支援】の 3 つに分類できた。中でも『TA と受講生の認識のすり合わせ』が多く見られることがわかった。</p> <p>PBL の支援にあたって,『TA と受講生の認識のすり合わせ』を前提に,TA はファシリテーターや学生と教員の架け橋になる役割を担うことが明らかになった。</p>	

※無断転載禁止